

北区GIGAスクール構想通信

みらい

令和5年
4月号

東京都北区教育委員会事務局教育振興部 学び未来課 (03-3908-9273)

学校の取組から

各学校のICTを活用した学校運営や授業での取組を紹介します。

岩淵小学校 2年学活「きたコンの使い方を考えよう」

きたコンが貸与されて2年目になり、これまでの使い方や困ったことなどを動画教材を視聴しながら振り返り、これから学級や自分のことで気を付けたいことや守りたい約束を考えました。

「きたコンは学習で使う」、「きたコンを落とさない」、「正しい姿勢で使う」などを始め、多くの考えが出ていました。

意見交換は固定したグループではなく、数人で発表し合っては次のグループが自然につくられるユニークな方式で、限られた時間でしたが、たくさんの友達と意見交換ができていました。



なでしこ小学校 5年社会「自動車をつくる工業」

自動車工場の工夫や努力を振り返ることで、日本の自動車づくりのよさをロイロノートで新聞にまとめる学習です。情報活用能力の育成面では、多くの情報を取捨選択し、様々な表現手段を組み合わせ、自分の考えを構築して表現しました。



ロイロノートの共有機能を常時オンにしているので、児童は考えが止まると他の児童の考えや表現を参考にしたり、自分の考えと比較したりして、意欲的に新聞の完成度を高めていきました。

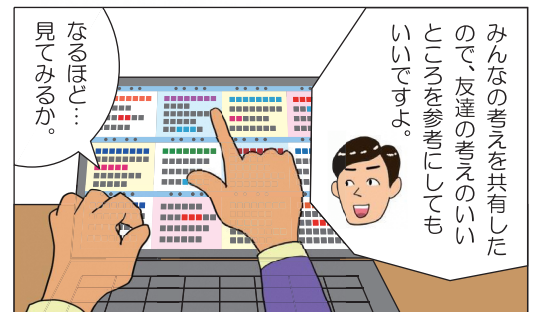
桐ヶ丘中学校 3年生「情報セキュリティ学習」

インターネットを使う上で、ネットワークに潜む危険とその対策を考えたり理解したりする「情報セキュリティ」を学習することは、とても大切です。今回は「不正侵入」の事例を題材に、ワークシートを使ってその対策を個別で考えた後、グループで意見交換をしてクラスで発表をしました。

この活動を通して、多様な考え方や捉え方を共有しました。また、インターネットを適正に利用することの大切さと、それを実行することで豊かな社会がつけられるということを実感しました。



きたちゃんコンちゃん by Toshi



自己の考えを深める、協働学習支援ツールの効果

北区内の各小中学校では、「きたコン」の協働学習支援ツールの「ロイロノート」や「スクールタクト」が活用されています。協働学習支援ツールの大きな特徴は、上の漫画の2コマ目のように、みんなの画面を一覧表示して共有できることです。

今までは、たくさんの友達の考えや意見を見たり聞いたりするには限りがありましたが、「きたコン」で一覧表示することで、自分が気になる考えを選んで読むことができます。それにより、自分と違う考えや多様な視点に気付くことができ、話し合いや議論が活発になり、自己の考えが広がったり深まったりします。

また、手を挙げて発表することが苦手な児童・生徒も、じつは「きたコン」には自分の意見をしっかり書いていることが多いという、嬉しい効果も多くの先生から聞いています。

